PICKIN' SINGIN' GINZA Rocky Top かわら版 第114号
ロッキーのHP→www.liverocky.com
2008 10、24 発刊

Yeah!マネージャー No73
かんとりの巻 作、チーフ井上

拝啓 November

今年も終わりに近づいてきましたね。
個人的には厄年(本厄)なので
ちょっと怖かったのですが、良い事がたく
さんある一年です。1月早々自転車に乗っていたところ
車にひかれて厄払いしたのかも。でもこないだ
自転車を盗まれました。今年は自転車運は
悪いです。「歩け!」って事かな… 家と駅と
の往復、片道25分の道を秋を感じながら楽しんでます。

ロッキートップで随時パーティー受付けてます、応相談!

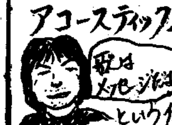
マスター田口の不幸デラックスコーナー!

執拗な自販機の攻撃の巻…マスター田口が愛飲してるアイスココアがある自販機、今までも幾度となくマスターを苦しめてきたが、またしても事件が起こったのだ!
以前突然アイスココアのボタンがみそラーメンに変わっていて誤って押してしまい¥300もするみそラーメンを買ってしまったことがあったがある日、元の場所にアイスココアが戻ってきていた…

ロッキーに現役ホストが入る!
〜スタンレー丸山イケ面時代の終焉

ロッキートップの新人スタッフとしてラインオブグラスのVo&G 高木嵐君が10月から働き出した。ルックスが冴えないブルーグラス界の中でラインオブグラスはイケ面ぞろいのバンドとして君臨している。そのリーダー高木君がもっとブルーグラスを知りたい!という熱意の目とロッキーに入った。女性客のハートを奪いまくる!というのが彼に与えられた使命だ。彼の参入によって今までロッキーでイケ面部門の地位を長らく保っていたスタンレー丸山が首位の座から陥落した。彼の時代は終わったのだ…まあそろそろ真面目に人生を考えた方がよいのでは?

アコースティックボイスを終えて…



わたくしチーフ井上主催で毎年1回開催している「アコースティックボイス」というイベントがある。上野水上音楽堂でやってるのだが今年はサブテーマで「この世に物申す〜俺達のメッセージソング」というのをつけた。かつて(1960年後半)この世にはベトナム戦争反対というテーマからプロテストソングがあふれていた。ボブディランの影響もあり岡林信康をはじめとしてとにかく世を憂え、世を変える意気込みで歌を作っていた。でも今や音楽はガキのためのエンターテイメントに成り下がってる感がある。今一度世に問いかけ世を射す鋭い刃を持った歌が必要なのではないか? そんな気がしてサブテーマをつけ、出演者にもそれを意識してステージをしてもらった。色んなメッセージがあった。人間って色んな事に悩み苦しみ怒り笑ってるんだなーと思った。そしてそれぞれが歌だ。かつてのシンボル「Love & Peace」のような大義は必要ないがミュージシャン一人一人がもっと歌に可能性と責任を持って歌のメッセージを真剣に伝えていく時ではないだろうか? そんな気持ちがアコースティックボイスを終え、さらに高まった。音楽業界は業界で勝手にやらせといて、まずは俺一人メッセージまくって生きてやる! 心にとどく歌を書くぞー!

どこへ行くブルーグラス(42)

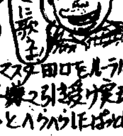
…わたくしチーフ井上がロッキートップに入り、ブルーグラスと出会ってからの数々の思い出をたどりながら今後ブルーグラスがどこへ行くのかを考察するコーナーで

小柳さんが亡くなってから→2001年11月16日前マスター小柳和興さんが他界した。62才という若さだった。亡くなる1週間前までゴールデンハートの方に出勤してたので全く信じられない出来事だった。病気だったのは知ってたがそれがどんなものなのかは語ろうとしなかった。それは入院したその日に亡くなったとのことだ。最後の最後まで働いてロッキートップのことも思っていてくれたんだと思う。
葬式の時は西海さんのバンジョーと共に「Yeah!マスター」を歌った。3月に追悼コンサートもロッキートップでやり、多くのブルーグラスプレイヤーが集まって小柳さんの死を惜しんだ。小柳さんは自分自身はブルーグラッサーではないのがある意味売りだったと思う。ついつい内輪的になりやすいブルーグラス界、小柳さんは一歩離れた立場から経営者としてつき合えたのが良かったのでは。
その点、田口マスターはどっぷりブルーグラス界につかってた人なので時につらそうに見える。まあこれ以上はあえて書くまい。
しかし「小柳さんが亡くなってからの状況」っていうのがあると思います。まず小柳さんの時代は接待を通してサラリーマンがよく飲みに来た。まだまだ接待費が出た時代だったのだ。プレイヤーもよく飲みに来た。まだまだ元気だったのだ(笑)
そう、いわゆるカントリー第一世代の人達が部下を連れて飲みに来る時代が定年などの理由で終わったのです。今まではちょっと会社の帰りにロッキーに寄るのりだったのが、わざわざ家から銀座までくり出してというのはしんどいし、そういった人達が来なくなりました。そして世の不況でコスト削減、接待費は厳しい時代となり、フリーのサラリーマン客ががくっと減った感じです。
世代交代で飲みに来るようになったのは1970年代に青春を過ごした、いわゆるテキーラ世代(シメさん西海さん泉沢さんら)だ。今までさっぱり客足がなかったテキーラサーキットにお客さんがバンバン来るようになった。テキーラ同世代のみならず70年代のアメリカンロックをリスペクトする若い世代のハートもつかみ、テキーラは一躍ロッキーの看板バンドとなりました。小柳さん、その姿を見たかったろうな… テキーラは解散してしまいましたがその流れを受けてサンセットライダーズ(イーグルスのみのバンド)もお客さんが多いです。ただ心配なのは、いわゆる懐しのカントリー、ブルーグラスだ。まさに「どこへ行く」だ。日本では消える音楽なのでしょうか?「バーボン片手にアメリカンなムードに酔う」なんて時代じゃないのかもしれない。無農薬野菜に芋焼酎みたいな時代だもんな…あと音楽を生で聴くことの価値が薄れてきてる気がする。DVDなどの普及が原因かもしれない… つづく

Pick Up Live!

11/4 GrassOnion(シメのブルーグラスセッション)
SHIME…Vo.G 西海孝…Vo.Bj 泉沢翔郎…f.Ma
手嶋昭英…Bass
テキーラサーキットのシメさんと西海さんをメインに原点のブルーグラスをセッションする。「ブルーグラス若旦那」復活か?
チャージ¥2500

11/22 〜いい夫婦の日特別企画〜 ブルーグラスサタデイナイト
さいたバンド、ルーラルリズムセクション
ゲスト…イールドッグ(マスター田口Vo.)



実はステージに立ちたくてしょうがないマスター田口をルーラルの流吉さん、さいたバンドのジョン/さんが嫌々引き受け実現した。相変わらずのひっぱりまくりVoとへらへらしたはっきりしないMCが見ものだ!

12/21 VANQ結成20周年プレライブ
バンカーズカルテットをやらせたら日本一のVANQが結成20周年を迎え、来年本ちゃんのイベントをやるがその前にロッキーでプレライブを行う。抜群のハーモニーとトップテナー飯沼さんのスーパーボイスに酔いしれよう!